

人権啓発 コーナー



人権研修のお問い合わせ
☎人権課 ☎5080

ハンセン病問題について

ハンセン病の原因は、らい菌という細菌です。発病すると末梢神経や皮膚が侵されるため、感覚障害が起こり、温度や痛みを感じにくくなります。顔（目・鼻・口）や手足が変形する後遺症が残りやすかったことから、偏見や差別の対象となりました。

らい菌は、人の体内でようやく生き延びることができる病原性が弱い菌であるにも関わらず、約20年前まで「らい予防法」によって強制的に患者を隔離し、住んでいた家を大掛かりに消毒するなどの政策を取り「とても怖い病気である」という誤った考えを人々に植え付けてきました。

そのため、ハンセン病患者は親

や兄弟姉妹と一緒に暮らすことも、実名を名乗ることもできない、結婚しても子供を産むことが許されず、一生療養所から出て暮らすことができない、死んでも故郷の墓に埋葬してもらえないという苦痛と苦難を長い間強いられてきました。もし、自分や家族が患者であったらどう思いますか？

このような偏見や差別を解消するためには、正しい知識を学ぶとともに相手の人権を尊重する気持ちを持つことが大切です。ハンセン病に対する偏見や差別をなくすために自分に何ができるのかを、この機会に考えてみましょう。

「かかりつけ医」を知っていますか？

かかりつけ医について詳しく紹介します



放映：6月26日(月)
～7月2日(日)



開業30周年“走る自然美術館” 錦川清流線

錦川清流線開業30周年記念式典や駅舎の改築について紹介します

放映：7月10日(月)
～16日(日)

広報番組

CATV「アイ・キャン」11ch

岩国市政番組

かけはし

Kake-hash i

※放送時間は、EPG(リモコンの番組表ボタンで操作)で確認してください。

※番組編成の都合により、急きょ放送日時や内容が変更になる場合があります。